



ORally

観光×Techを活かしたQRサービスQRコードとスタンプラリーで、自分らしい旅をサポートする。

我々のコンセプト

Quick ReallyQuick Reality

QR技術 * Al Agentを活用

素早く、"正しい情報を遊びに還元する" 素早く、"正しい情報を業務に還元する" 我々の提案するプロダクト

1.B to C型プロダクト: QRally

2/B to B型プロダクト: QRally factory

我々の提案するプロダクト

1.B to C型プロダクト: QRally

2/B to B型プロダクト: QRally factory

プロダクト名:

選定テーマ:

QRally

観光 * Tech

ペルソナ:ローカライズされた場所に行きたい観光客

顧客層の規模は非常に大きい:

訪日外客数(2025 年 8 月推計値): 3,428,000 人 前年同月比16.9%増[2] 2025年4-6月期の調査結果: 訪日外国人旅行消費額 ⇒ 2兆5,250億円[3] 地方の観光地を2015年以降に旅行 ⇒ 初訪日者は全体の72%、訪日リピーターは90%[1]

<u>課題:</u>

観光体験の深さが安定しない ⇒ QR×観光を組み合わせた旅行体験で解決!

本プロダクトのアイディア: QR×スタンプ機能

本機能の目的: **人の動きを可視化し、行動を設計する**

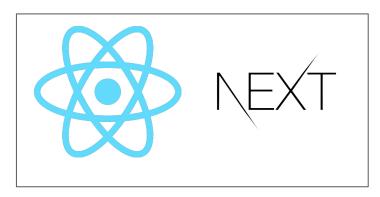


本プロダクトの価値:

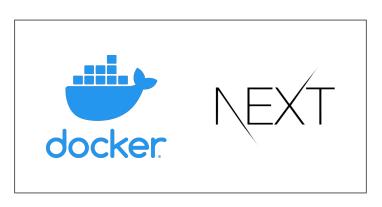
- ・地域の名産やイベントに関する QRを読み取ることで、詳細を知れる機能
- ・スタンプラリーとしての顧客循環を実現しながら、商品交換できる機能
 - ⇒ 地域特有の情報を知る機会を得られる +地域を潤す経済循環の実現! [4]

開発技術

フロントエンド



バックエンド

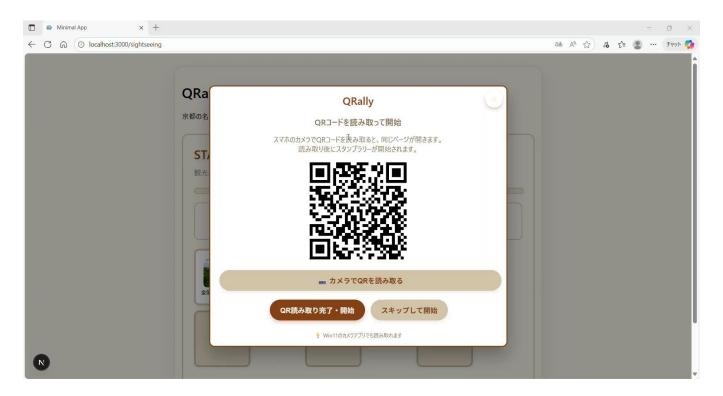


選定理由

Next.js:サーバーサイドとフロントエンドのコードを統合的に管理できるため。これにより、API通信の手間を減らし、開発効率と保守性を向上させる。 [5]

Docker:開発環境を統一し、チーム全体で同一の環境を再現できる。 [6]

QRally - デモ映像



https://drive.google.com/file/d/1ZpnYWFkmMRDLYpuQOCNACPI7BjrBoRI5/view?usp=drive_link

競合比較





シンプルな QRラリー機能+マップ連携

マイページ・特典・イベント管理

QR * 観光という面だけだと、我々のプロダクトは弱い弱すぎる!!

だが、まだ勝てる方法はあるのではないか? ⇒ 議論の結果

新規性-優位性

● 情報提供

○ メジャーな情報ではなく、「地域の名産やローカルイベント、隠れた名店」に焦点を絞った QRコンテンツを提供する。これにより、ユーザーは「地元の人しか知らない情報」や「時期限定のディープな体験」を見つけることができる。

● 顧客循環・商品交換

○ 抽選景品や大手チェーンで使えるクーポンではなく、「その地域でしか手に入らない名産品」との直接交換をゴールに据える。これにより、「単なる景品獲得」ではなく、「地元経済に貢献し、本物のローカル産品を手に入れる」という体験価値を提供する。

データ算出

○ QR設置場所をあえて観光案内所や駅前などの「メジャースポット」から分散させ、「人通りが少ないローカルな商店街」や「隠れた名店」に集中させる。

議論を踏まえた追加機能

RAGを用いた地域密着型の LLM観光エージェント

[ペルソナの背景]

地方では特定地域に集中し、ローカルな地域の有名どころが取りこぼされる。

[アプローチ]

Retrieval Augmented Generation (RAG) * Al Agentの宣伝・対話機能の構築[9][10]

- ・観光推薦機能:RAGを活用した観光客の行動誘因
- ・ポイント付与機能:マイナーであればあるほど、ポイントを増加

参考文献

[1]https://www.travelvoice.jp/20241108-156554

[2]https://www.jnto.go.jp/statistics/data/_files/20250917_1615-1.pdf[1]

[3]https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001900535.pd

[4]アニメ「青春ブタ野郎はサンタクロースの夢を見ない」が湘南エリアにて大規模コラボが決定! https://ao-buta.com/knapsack/news/?id=67962

[5]]Next. JS https://nextjs.org/

[6]Docker https://www.docker.com/ja-jp/

[7]https://furari.jp/

[8]https://stanlly-plus.jp/

[9]https://aws.amazon.com/jp/what-is/retrieval-augmented-generation/

[10]https://aws.amazon.com/jp/what-is/ai-agents/